

学習・言語心理学

《担当者名》齊藤 恵一 (ksaito@hoku-iryu-u.ac.jp)

【概要】

言語は人間が持つ多くの心的機能の中で最も重要なものの一つである。どんなに単純な言語表現であっても、それを理解し産出するためには多くの知識や処理が動員される。この講義では人間の言語情報処理に関わる認知プロセスについて学ぶ。

【学修目標】

本講義での学修目標は次の5点である。

人間が言葉を発し理解するという現象を心における情報処理過程としてとらえる。

人間の言語情報処理には、感覚・知覚のような低次の心的過程から、記憶や推論のような高次の心的過程まで、多くの処理プロセスが関与していることを理解する。

言語の習得における機序について説明できる。

人間の言語情報処理の理論として提唱されているモデルについて知る。

人間の言語の数理的な性質を理解する。

学生は、上記の目標に対して次の点を目指して学習を進めること。

認知心理学における言語の研究の代表的な知見を述べるができる。

音声の知覚やパターン認知、作動記憶、文法や語彙などの言語的知識、それに意味記憶などの一般的・世界に関する知識について説明することができる。

語彙の習得と文法の形成を区別して考え、また、語用論的処理についても言語発達の観点から理解する。

言語処理モデルの特徴を理解する。

文法の階層について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	人間の言語情報処理過程	導入 言語と心の関わり/認知心理学的観点について理解する。	齊藤 恵一
2	言語と記憶	言語処理における記憶の役割/三つの表象レベル/作動記憶と言語理解について理解する。	齊藤 恵一
3	単語認知	心内辞書と世界に関する知識/単語認知の特徴について理解する。	齊藤 恵一
4	単語認知	単語認知の心理学的モデル/語彙処理における計算について理解する。	齊藤 恵一
5	文処理過程	統語構造の心的実在性/ガーデンパス理論・最小付加の原理・遅い閉鎖の原理/制約に基づく理論/曖昧さ解消過程について理解する。	齊藤 恵一
6	文法	文法の生得性について理解する。	齊藤 恵一
7	文法	計算論からみた文法の階層性について理解する。	齊藤 恵一
8	談話	文間関係の同定/新情報・既知情報/照応解決/推論の必要性/スキーマについて理解する。	齊藤 恵一
9	言語産出・語用論的処理	言語行為論/間接発話行為/会話の公準	齊藤 恵一
10	言語産出・語用論的処理	関連性理論について理解する。	齊藤 恵一
11	比喩	比喩の分類/比喩理解のモデルについて理解する。	齊藤 恵一
12	意味	カテゴリー・概念について理解する。	齊藤 恵一
13	意味	意味記憶/潜在意味分析について理解する。	齊藤 恵一
14	意味 /読み/音響音声学・聴覚系・音韻論	文の意味・格文法・概念依存構造/中心窩と傍中心窩による情報収集・眼球運動の特徴/音の物理的特性・フーリエ分析・聴覚刺激の符号化・フォルマント・音声特性・二重文節性について理解する。	齊藤 恵一
15	言語発達・言語習得/言語の障害	言語発達事象・認知的制約・言語獲得支援システム(LASS)/発達性ディスレクシア・失語症・ASDと語	齊藤 恵一

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		用障害について理解する。	

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート 40% 定期試験（多肢選択式＋記述式） 60%

【教科書】

必要な資料をその都度提示する。

【参考書】

- ・ 阿部 純一・桃内 佳雄・金子 康朗・李 光五（著）人間の言語情報処理 - 言語理解の認知科学 - サイエンス社
- ・ Clark, H. H. & Clark, E. V.（著）藤永 保・小菅 京子・酒井 たか子・秦野 悦子（訳）心理言語学 - 心とことばの研究 [上] 新曜社
- ・ Clark, H. H. & Clark, E. V.（著）藤永 保・小菅 京子・酒井 たか子・秦野 悦子（訳）心理言語学 - 心とことばの研究 [下] 新曜社
- ・ 川崎 恵里子（編）ことばの実験室 - 心理言語学へのアプローチ プレーン出版
- ・ 芦阪 直行 読み - 脳と心の情報処理 朝倉書店
- ・ 大津 由紀雄（編）言語（認知心理学3）東京大学出版会
- ・ 酒井 邦嘉 言語の脳科学 - 脳はどのようにことばを生みだすか（中公新書1647）中央公論新社
- ・ Sipser, M.（著）渡辺 治・太田和夫（監訳）阿部正幸・植田広樹・田中圭介・藤岡 淳（訳）計算理論の基礎1 共立出版
- ・ Sipser, M.（著）渡辺 治・太田和夫（監訳）阿部正幸・植田広樹・田中圭介・藤岡 淳（訳）計算理論の基礎2 共立出版
- ・ Sipser, M.（著）渡辺 治・太田和夫（監訳）阿部正幸・植田広樹・田中圭介・藤岡 淳（訳）計算理論の基礎3 共立出版

【備考】

【ICTの活用】

資料の配付やレポート受領にはGoogle Classroomを使用する。

【課題に対するフィードバック】

授業ごとの練習問題については回答の正誤が開示される。

【学修の準備】

予習として授業で提示する資料をアップロードするので、事前に目を通して概要を把握しておくこと（60分程度）。
復習として授業内で扱った諸概念を正しく説明できるようにしておくこと（180分程度）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. 心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

DP4. 公認心理師の活動に関連する知識・技術を修得している。